

南天白通信 REOプロジェクト 広報版 第11号

今回は、今年度最後の広報版ということで、より多くの人の良さを紹介したいと思い、2ページ分の紹介をしてしまいました。このプロジェクトがスタートしてから、半年余り。皆さんが見付けてくれた、数多くの「友達の良いところ」を見ると、いつも「皆、前向きに頑張ってるんだなあ」と思うことができました。さて、令和2年最後のREOプロジェクト。皆さんのどんな姿を見ることができるのでしょうか。

1年生の部

【Aさんについて】

○ Aさんは、体育のダンスのとき、最初は覚えていなくて、一人だけ遅れていたけど、最後まであきらめずに練習してくれて、完璧じゃないけど、難しいダンスも一生懸命覚えてくれた。

【Cさんについて】

○ Cさんは、日直でも当番でもないのに、気付いたら黒板を積極的に消していて、いいことをしてるなと思った。

【Eさんについて】

○ 授業中に分からないことがあったとき聞くと、分かりやすく教えてくれる。筆箱を忘れたとき、鉛筆を使ってたら、「シャーペン貸すよ」と言ってくれた。

【Gさんについて】

○ 南天ウォークラリーで、みんなの荷物を自分から進んで持ってきて、とても優しいと思った。

【Iさんについて】

○ 男子のケンカを止めに入ったり、チャイム前に呼びかけをしたりしています。みんなのことをよく見ているし、接しやすいから質問とかもしやすくて助かってます。

【Kさんについて】

○ 掃除で机を消毒するとき、机の上に消しカスが乗っていて、それをそのまま落とさずに、ちゃんとゴミ箱に捨てていた。

【Bさんについて】

○ 掃除で、ちりとりを誰がやるかとなったとき、いやな顔せず、自分からちりとりを取ってやってくれて、この人はなんて良い人なんだと思って、とても感謝しています。

【Dさんについて】

○ Dさんは、百人一首大会が盛り上がるように、グループ内でいろいろな子に話しかけたりしていてすごいと思った。

【Fさんについて】

○ 授業中に消しゴムを落としたとき、拾ってくれました。
○ 授業を真面目に受けていてすごい。そして、おもしろい。

【Hさんについて】

○ Hさんは、生活委員で、教室移動の時には最後まで残って、カギを毎回閉めてくれています。

【Jさんについて】

○ 1年間、ずっと一緒にいて、困ったときには助けてくれて、相談にも乗ってくれるので感謝しています。

【Lさんについて】

○ 進んでめんどくさいこともするところがすごい。

【Mさんについて】

○ 知らない人にも、しっかり挨拶をしていたからすごいと思った。

【クラスの全員について】

- 同じクラスになって、楽しいこともたくさんあって、その中で支え合ったり、何かの出来事があったりしたから、他のクラスにはない友情があるなと思いました。私を支えてくれたり、この1年間の生活を楽しませてくれたクラスのみんなに感謝したいです。

2年生の部

【Nさんについて】

- 黒板で見えなかった所や、授業で聞き逃したところを教えてくれた。社会で地図帳を忘れたとき、見せてくれた。前回、牛乳箱を2個持ちしていてすごいと思った。

【Pさんについて】

- クラスは違うけど、いつも学校と一緒に行ってくれたり、遅れたときは待ってくれたりしたことにととても感謝しています。宿題とか分からないところも教えてくれます。

【Rさんについて】

- 教室移動の前にトイレに行っているとき、荷物をもっていってくれてありがとう！私が「持って」と言わずとも、持って行ってくれることに感謝しています。

【Tさんについて】

- レクリエーション大会のとき、企画・進行など、一から頑張っていてとてもすごいなと思った。みんなが笑顔になっていて、自分も楽しくて、Rさんだけでなく、他の学級委員長さんにもありがとうと言いたい。

【Oさんについて】

- 生徒会でいろいろなことを指示してくれました。特に印象に残っているのは、気持ちが落ち込んでいて、病んでいた時に、一番に相談に乗ってくれてアドバイスをしてくれたことです。本当に感謝しています。

【Qさんについて】

- 体育の時間に、野球のバットの握り方や、力の入れ方を教えてくれた。

【Sさんについて】

- (見てる感じ、僕のことをあまり好きそうではない上に、友達の前の中に入れていかよくわからないけど)席が近いというだけの理由で、放課にちょっかいをかけてくれる。趣味も好みも違うけど、放課にやってる遊びに誘ってくれた。うれしかった。

【Uさんについて】

- Uさんは、本棚を運ぶとき、すぐに手伝ってくれた。

【Vさんについて】

- 積極的に声をかけてきてくれるのでとても話しやすい。

☆ 人間関係は、時に難しいと感じることがあります。例えば、何かのトラブルがきっかけで、気に入らないと思った相手に対して、集団で仲間はずれにしたり、ラインなどのSNSを使ってひどい言葉で攻撃したりして、ひどく人を傷つけてしまう・・・こんな話を時々耳にします。

人は、気に入らないと思ってしまった相手がいると、その人の悪い点ばかりを見せまわがちになります。心の中の闇にとらわれてしまうとも言えるかもしれません。その結果、相手を攻撃する気持ちがどんどん深くなってしまふのだと思います。

そんな悲しい結果にならないよう、スタートしたのがREOプロジェクトでした。そこで皆さんは本当に多くの「友達の良さ」を見つけてくれました。自分たちの周囲にいる人の良さを見付けることは、心の中の闇ではなく、心の中の光に目を向けることだと思います。

人間関係ではトラブルはつきものです。でも、皆さんがこのプロジェクトを通し見せてくれた姿があるならば、大丈夫。トラブルをきっかけに、よりよい人間関係の在り方を学び取っていきけると思います。

来年度がより良い1年になるよう、お互い頑張っていきましょう！